

## 「丹後とり貝」育成情報の発出

当センターでは、「丹後とり貝」の成長・生残および育成海域の水質環境を定期的にモニタリングし、育成貝に悪影響を与える可能性のある状況を確認した場合、「丹後とり貝育成情報」として速やかに生産者に情報提供しています。

今夏は猛暑と小雨が続いていたことから、8月上旬のモニタリングにより、トリガイ育成を行っている全ての海域で水温が28℃を超え、餌となる植物プランクトンも非常に少ない状況が確認されました。このような状況はトリガイの成長・生残に甚大な悪影響を及ぼすと考えられたため、「飼育密度を低くして全ての貝に十分に餌が行き渡るようにすること、育成水深を深場にし、高水温帯からの避難を試みることを」を指導内容として、「高水温注意報！！」の見出しで即日、育成情報を発出しました。

迅速な情報提供が功を奏し、貝の成育に大きな影響は出ませんでした。今後もモニタリングを継続し、「丹後とり貝」の生産支援に努めていきます。

### 丹後とり貝育成情報 No25

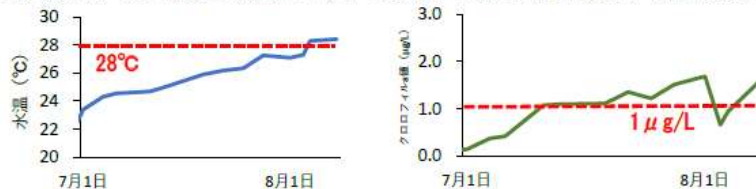
(令和4年度第1報)

令和4年8月8日  
海洋センター

#### 高水温注意報！！

育成海域の海水温がかなり上昇しています！薄飼い（25個以下/箱）と早めのコンテナ交換、および深吊りで乗り切りましょう！

7月中旬から猛暑となり降水もほとんどない状況が続き、海水温が急上昇しています。8月8日現在、粟田湾の水温は表層から底層まで28℃以上に上昇しています（下図左）。さらに、餌となる植物プランクトンも少ない状況です（下図右）。他のトリガイ育成海域も同様の状況にあることが危惧されます。この状態が長く続くとトリガイの成長、生残に悪影響を及ぼす可能性があります。



発出したトリガイ育成情報(A4版1枚の上半分を抜粋)